



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 日新商事株式会社

コード番号 7490 URL <http://www.nissin-shoji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 走尾 一隆

TEL 03-3457-6254

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	32,146	△2.6	34	△56.9	138	△29.2	68	12.4
24年3月期第2四半期	33,021	7.8	81	△36.7	195	△7.8	61	△13.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △157百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △171百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	10.22	—
24年3月期第2四半期	9.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	23,072	15,731	68.2	2,338.73
24年3月期	24,964	15,949	63.9	2,371.11

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,731百万円 24年3月期 15,949百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年3月期	—	9.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	2.3	280	3.6	450	△4.6	240	55.4	35.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	7,600,000 株	24年3月期	7,600,000 株
25年3月期2Q	873,392 株	24年3月期	873,392 株
25年3月期2Q	6,726,608 株	24年3月期2Q	6,726,662 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要が引き続き見られました。しかしながら、依然として円高傾向は継続し、また、欧州債務危機に対する不安や、中国など新興国の経済成長減速の影響から、世界経済下振れの懸念が根強く、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

石油製品販売業界におきましては、期初は下落基調にあった原油市況が中東情勢の緊張をはじめとする要因に影響されたため反転上昇したことなどにより、国内石油製品価格は期中から上昇に転じました。また、原子力発電所の稼働停止による影響で火力発電所の高稼働が継続し、発電用燃料の需要が高まったことなどにより、燃料油販売数量は前年同期と比較して増加いたしました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の当社グループ連結業績は、売上高は32,146,636千円、前年同期比2.6%の減収となりました。また、主に直営部門において、当第2四半期連結会計期間の仕入価格上昇に対し十分な価格転嫁ができず、燃料油のマージンが押し下げられたものの、外食事業において、前年度に譲受したケンタッキーフライドチキン店の収益が寄与したことなどにより売上総利益は微増となりました。しかしながら、同店舗の譲受に関わる販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、営業利益は34,888千円、前年同期比56.9%の減益、経常利益は138,249千円、前年同期比29.2%の減益となりました。一方、受取賠償金が特別利益に計上されたことなどにより、四半期純利益につきましては、68,738千円、前年同期比12.4%の増益となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次の通りであります。

#### <石油関連事業>

##### (直営部門)

直営部門につきましては、カーコーティング洗車、車検などのカーメンテ商品拡販に注力いたしました。また、前年度までに新設、改装したSS（サービスステーション）が堅調に推移したことや震災による販売低迷が解消され販売数量が増加したことなどにより、売上高は11,395,303千円、前年同期比1.6%の増収となりました。しかしながら、燃料油のマージンが押し下げられたため非常に厳しい収益状況となりました。

##### (卸部門)

卸部門につきましては、消防法改正に伴う地下貯蔵タンク規制強化の影響で一部販売店の運営するSSが閉鎖したことなどにより、販売数量が減少いたしました。その結果、売上高は6,334,741千円、前年同期比8.4%の減収となりました。

##### (直需部門)

直需部門につきましては、潤滑油は積極的な営業活動を展開し、販売数量が増加いたしました。しかしながら、震災後に発生した電力会社向けC重油の需要が前年同期に比べて減少したことなどにより、燃料油は販売数量が減少いたしました。その結果、売上高は10,664,189千円、前年同期比5.0%の減収となりました。

##### (産業資材部門)

産業資材部門につきましては、石油化学製品は、震災影響を受けた前年に比べて供給が復調したことなどにより、販売数量が増加いたしました。一方、ペットボトル飲料は、最需要期である夏季において前半の天候不順の影響などにより販売数量が減少いたしました。その結果、売上高は2,102,456千円、前年同期比0.9%の増収となりました。

##### (その他部門)

その他部門につきましては、液化石油ガス販売は、省エネタイプの保安器具入替提案を含めた積極的な営業活動を展開いたしました。しかしながら、販売数量が減少したことなどにより、売上高は874,033千円、前年同期比8.0%の減収となりました。

#### <外食事業>

外食事業につきましては、ケンタッキーフライドチキン店は、前年度に譲受した3店舗の売上が寄与したことにより、売上高は増加いたしました。一方、タリーズコーヒー店は、消費者マインドの改善が足踏み状態にあるなかで嗜好品に対する低価格志向は依然として根強く、売上高は減少いたしました。その結果、売上高は504,824千円、前年同期比42.3%の増収となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業につきましては、既存物件の稼働率が堅調に推移したことなどにより、売上高は271,088千円、前年同期比0.8%の増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産

(総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ、1,892,159千円減少し、23,072,508千円となりました。これは、繰延税金資産が107,053千円増加したものの、現金及び預金が143,701千円、受取手形及び売掛金が1,522,397千円減少し、投資有価証券及び関係会社株式が299,704千円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ、1,674,389千円減少し、7,340,765千円となりました。これは、借入金が145,000千円増加したものの、支払手形及び買掛金が1,346,896千円、未払法人税等が155,380千円、預り保証金が83,233千円減少し、社債が97,000千円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ、217,769千円減少し、15,731,742千円となりました。これは、利益剰余金が8,198千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が225,823千円減少したことなどによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末に比べ32.38円減少し、2,338.73円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、営業活動によるキャッシュ・フローで増加したものの、投資活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローにおいて資金が減少したために前連結会計年度末に比べ143,972千円減少し、1,216,300千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、158,928千円の資金の増加となりました。増加の主なものは税金等調整前四半期純利益123,711千円、減価償却費の計上172,811千円、売上債権の減少額1,522,621千円であります。減少の主なものは預り保証金の減少額86,752千円、仕入債務の減少額1,346,896千円、法人税等の支払額192,445千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、284,389千円の資金の減少となりました。これは、有形固定資産の取得による支出195,711千円、投資有価証券の取得による支出46,585千円、差入保証金の差入による支出32,387千円などにより資金が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、18,366千円の資金の減少となりました。増加の主なものは社債の発行による収入300,000千円、長期借入による収入200,000千円であります。減少の主なものは社債の償還による支出397,000千円、長期借入金の返済による支出55,000千円、配当金の支払額60,539千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の連結業績予想は修正いたしました。が、経済情勢や石油製品価格の動向が不透明なこともあり、現段階では、平成24年5月11日に公表いたしました連結業績予想から変更いたしません。なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在で入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項ありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
影響額の僅少なものについて、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更  
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ5,492千円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,373,478	1,229,777
受取手形及び売掛金	9,763,465	8,241,068
商品及び製品	596,035	569,284
その他	362,526	272,614
貸倒引当金	△27,936	△6,274
流動資産合計	12,067,570	10,306,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,835,457	2,789,516
土地	5,384,137	5,384,137
その他（純額）	318,304	398,815
有形固定資産合計	8,537,900	8,572,469
無形固定資産		
投資その他の資産	306,671	290,446
投資有価証券	2,362,050	2,197,632
関係会社株式	933,215	797,928
その他	819,639	971,130
貸倒引当金	△62,379	△63,569
投資その他の資産合計	4,052,525	3,903,122
固定資産合計	12,897,097	12,766,037
資産合計	24,964,668	23,072,508
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,871,572	2,524,675
短期借入金	645,000	645,000
未払金	638,624	573,857
未払法人税等	211,843	56,463
賞与引当金	224,022	208,210
役員賞与引当金	15,148	8,000
固定資産撤去費用引当金	8,980	—
資産除去債務	9,431	10,306
その他	632,705	400,839
流動負債合計	6,257,327	4,427,352
固定負債		
社債	732,000	855,000
長期借入金	67,500	212,500
退職給付引当金	966,829	939,815
役員退職慰労引当金	49,226	36,403
資産除去債務	67,707	78,480
その他	874,564	791,213
固定負債合計	2,757,828	2,913,413
負債合計	9,015,155	7,340,765

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,281,625	3,281,625
利益剰余金	9,365,724	9,373,922
自己株式	△643,357	△643,357
株主資本合計	15,627,991	15,636,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	337,056	111,232
為替換算調整勘定	△15,535	△15,680
その他の包括利益累計額合計	321,521	95,552
純資産合計	15,949,512	15,731,742
負債純資産合計	24,964,668	23,072,508



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	33,021,150	32,146,636
売上原価	29,963,303	29,043,440
売上総利益	3,057,846	3,103,196
販売費及び一般管理費	2,976,832	3,068,307
営業利益	81,014	34,888
営業外収益		
受取利息	1,474	1,709
受取配当金	47,348	45,889
持分法による投資利益	4,674	4,162
受取保険金	31,414	—
その他	62,935	79,988
営業外収益合計	147,847	131,749
営業外費用		
支払利息	17,653	14,200
社債発行費	—	5,826
社葬費用	9,850	—
その他	6,206	8,361
営業外費用合計	33,710	28,388
経常利益	195,151	138,249
特別利益		
損害賠償金	—	16,201
特別利益合計	—	16,201
特別損失		
減損損失	15,669	28,989
投資有価証券評価損	16,039	—
その他	7,798	1,749
特別損失合計	39,507	30,739
税金等調整前四半期純利益	155,643	123,711
法人税、住民税及び事業税	118,007	37,898
法人税等調整額	△23,539	17,074
法人税等合計	94,467	54,972
少数株主損益調整前四半期純利益	61,175	68,738
四半期純利益	61,175	68,738

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	61,175	68,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△232,196	△224,154
為替換算調整勘定	211	△144
持分法適用会社に対する持分相当額	△853	△1,669
その他の包括利益合計	△232,838	△225,968
四半期包括利益	△171,662	△157,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△171,662	△157,230
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	155,643	123,711
減価償却費	155,170	172,811
減損損失	15,669	28,989
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,611	△15,812
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,677	△27,014
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,114	△20,471
受取利息及び受取配当金	△48,822	△47,598
支払利息	17,653	14,200
持分法による投資損益 (△は益)	△4,674	△4,162
損害賠償金	—	△16,201
投資有価証券評価損益 (△は益)	16,039	—
前払年金費用の増減額 (△は増加)	54,388	44,904
預り保証金の増減額 (△は減少)	60,883	△86,752
売上債権の増減額 (△は増加)	138,556	1,522,621
たな卸資産の増減額 (△は増加)	11,270	26,750
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,851	△1,346,896
未払軽油引取税の増減額 (△は減少)	42,454	△48,961
その他	△71,135	△14,482
小計	582,767	305,635
利息及び配当金の受取額	50,611	49,628
利息の支払額	△17,557	△13,166
法人税等の支払額	△79,961	△192,445
損害賠償金の受取額	—	9,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	535,859	158,928
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△108,610	△195,711
有形固定資産の除却による支出	△831	△10,214
無形固定資産の取得による支出	△13,742	△2,849
投資有価証券の取得による支出	△29,605	△46,585
差入保証金の差入による支出	—	△32,387
貸付けによる支出	△500	△3,910
貸付金の回収による収入	8,608	8,625
その他	△357	△1,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,039	△284,389
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△60,000	△55,000
社債の発行による収入	—	300,000
社債の償還による支出	△397,000	△397,000
配当金の支払額	△60,539	△60,539
その他	—	△5,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	△517,539	△18,366
現金及び現金同等物に係る換算差額	211	△144
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△126,508	△143,972
現金及び現金同等物の期首残高	1,442,916	1,360,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,316,408	1,216,300

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	石油関連 事 業	外食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,397,396	354,756	268,996	33,021,150	—	33,021,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	31,894	31,894	△31,894	—
計	32,397,396	354,756	300,890	33,053,044	△31,894	33,021,150
セグメント利益又は損失(△)	142,039	△20,089	148,540	270,490	△189,476	81,014

(注) 1. セグメント利益の調整額△189,476千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「石油関連事業」セグメント及び「外食事業」セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで10,829千円、「外食事業」セグメントで4,840千円を当該減損損失にそれぞれ計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	石油関連 事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,370,723	504,824	271,088	32,146,636	—	32,146,636
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	27,374	27,374	△27,374	—
計	31,370,723	504,824	298,463	32,174,011	△27,374	32,146,636
セグメント利益又は損失(△)	112,052	△26,813	170,088	255,326	△220,437	34,888

(注) 1. セグメント利益の調整額△220,437千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「石油関連事業」セグメント及び「外食事業」セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで16,171千円、「外食事業」セグメントで12,817千円を当該減損損失にそれぞれ計上しております。